

平成 27 年度エコ事業所表彰（平成 26 年度取組結果）
審査基準と審査委員長コメント

1 審査基準

(1) 電気使用量の削減部門

地球温暖化防止に貢献する事業活動に努め、電気使用量を削減した事業所のうち、他の模範となる取組を実施したものの。

なお、対象事業所が多種多様な業種・規模に及ぶことから、原単位の削減率を重視して評価。

(2) 自動車燃料使用量の削減部門

地球温暖化防止に貢献する事業活動に努め、自動車燃料使用量を削減した事業所のうち、他の模範となる取組を実施したものの。

なお、対象事業所が多種多様な業種・規模に及ぶことから、原単位の削減率を重視して評価。

※ 原単位 電 気: 電気使用量 ÷ 電気使用量と密接な関係を持つ値 (例: 延床面積、生産量)
自動車: CO2 排出量 ÷ 自動車使用台数

(3) その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

創意工夫されている、組織内で浸透している、継続性がある、地域との関わりが深い等、他の模範となる取組みを実施した事業所。

2 被表彰事業所

別紙「平成 27 年度エコ事業所表彰（平成 26 年度取組結果）被表彰事業所一覧」のとおり。

3 エコ事業所表彰審査委員

所 属 等	氏 名
北九州市立大学国際環境工学部 教授	二渡 了
一般財団法人省エネルギーセンター九州支部 事務局長	村上 直美
福岡県地球温暖化防止活動推進センター長	中村 修
福岡県環境部環境保全課長	佐竹 清一

4 審査委員長コメント（北九州市立大学国際環境工学部 教授 二渡 了）

(1) 総評

平成19年度に募集を始めた「エコ事業所」については、現在約3,200の事業所にご登録いただき、それぞれの事業所において、省エネルギー・省資源等の地球温暖化防止に取り組んでいただいております。

事業所の取組結果を基に審査を行う表彰では、あらゆる業種・規模の事業所を対象としているため、各事業所の取組内容や結果を一律に評価することは困難ですが、電気使用量及び自動車燃料使用量の削減については、原単位の削減率を比較した上で、実際に優秀な取組を行っていると思われる事業所を選定しました。

また、その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動については、顕著な成果を挙げており、創意・工夫や継続性のある、地域との関わりが深い取組であるか等を基準に審査し、優秀な活動を実践していると認められる事業所を選定しました。

表彰を受賞された事業所の皆様のご努力に敬意を表します。

地球温暖化は、国際的な喫緊の課題であり、その解決のためには、事業所における低炭素社会に向けた取組が不可欠であります。

被表彰事業所の取組を参考に、県内の事業所の省エネルギー・省資源の取組が今後益々広がることを願っております。

(2) 各部門の最優秀事業所の評価

ア 電気使用量の削減部門

事業所名	グリーンライフ産業株式会社〔福岡市〕
評価	売上額の増加にもかかわらず、省エネの取組により電気使用量を削減していることや、取組の継続性を評価しました。

イ 自動車燃料使用量の削減部門

事業所名	マリノアシティ福岡〔福岡市〕
評価	公共交通機関の利用促進やエコドライブの取組により、継続してガソリン使用量を削減していることを評価しました。

ウ その他の地球にやさしい（環境に配慮した）活動部門

事業所名	森村商事株式会社 九州営業所〔北九州市〕
評価	内部監査の実施などの顕著な取組を始め、環境に配慮した取組を多岐に渡って実施していることを評価しました。